

これから春が来る。



TSU NA GA RU

一人の子どもや若者も取り残さない社会をつくる
さいたまユースマガジン

1 / 004
2023

- つながる -



特集

This is 就労支援
ありがとうクラウドファンディング目標達成

NPO法人さいたまユースサポートネット
<https://saitamayouthnet.org/>

NPO法人さいたまユースサポートネット
[saitamayouth](https://saitamayouth.net)

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

さいたまユースがさいたま市見沼区堀崎に拠点を移して2年経ちました。地域の自治会など住民団体、子どもや若者を支える市民団体にも、子ども・若者たちを支える輪に加わっていただいています。「コロナ」はとりわけシングルマザーの家庭に大きな打撃を与えたといわれます。私たち自身、周囲の困難を抱える子ども・若者たち、家族の状況の深刻化を目の当たりにしています。

私たちの堀崎拠点がそのような方々と支える人々との出会いとつながりの場となり、困難な時も、そうでない時も、共に希望を持って生きていける地域を一緒につくっていく、地域づくりの拠点となるような役割を担って行けたらと思っています。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

さいたまユースサポートネット
専務理事 青砥 祥子



column

北の端から、さいたまユースサポートネットの居場所に大注目！

すっかり雪景色の札幌から、さいたまユースサポートネットにエールとともに今回の原稿をお送りします。

まずは自己紹介を兼ねて、私たちの活動を簡単に紹介します。私の所属する公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会は児童館やキャンプ場、男女共同参画センターなど、主に札幌市の公共施設の指定管理を通じて、子ども・若者の健全育成やジェンダー平等の実現に取り組んでいます。ここ20年ほどは、いわゆる青少年のキラキラした活動だけでなく、困難を抱えた子ども・若者の支援にも力を入れて、ターゲット型の支援と、ユニバーサル型の交流との両輪で動いているところです。

加えて近頃は、この両輪を繋ぐ「地域コミュニティの力」の大切さを感じています。専門的な相談窓口と、日常を

見守る地域の人たちが噛み合ったときこそ、子ども・若者は困難を乗り越え、大きく成長を遂げます。

なあって偉そうなことを言っていますが、私たちの実践は常に手探りです。「このやり方で良いのかな」「本当に必要な人に届いているだろうか」と迷ってばかり。振り返ればいつも、さいたまユースサポートネットさんの先進的な取り組みに学び、青砥代表との電話に励まされてきました。地域の力を結集するには、地域に根差した民間団体の力が不可欠です。全国で子ども若者支援が「うまくいっている地域」には、核となる団体があり、そこをハブにして、民も公も地域も繋がっています。

これからも、さいたまと札幌の「ご当地団体」として、切磋琢磨していきましょう！



札幌市若者支援総合センター館長
松田 考さん

札幌市若者支援総合センター館長、こども若者の居場所とこまち代表。現場で困難を抱える若者や家族の相談に応じながら、さっぽろ子ども・若者支援地域協議会の立ち上げ・運営に携わっている。近年では特に、学校教育との連携や若者を支える地域づくりなど、すべての子ども・若者の育ちの支援に取り組んでいる。

#埼玉県 #社会にいいこと #まちづくり #子ども・教育 #医療・福祉 #人権 #大学 #研究

10年続きたまり場 | ここにいいんだと思える居場所を継続したい

さいたまユースサポートネット



居場所 たまり場

クラファン挑戦！

ご支援いただき、ありがとうございました。

2022年11月4日から12月16日まで当法人として、初めてのクラウドファンディングに挑戦しました。230名の方からご支援いただき、当初目標の3,000,000円のみならず、ネクストゴールの4,000,000円を上回る、416,600,000円のご支援をいただきました。ありがとうございました。



クラファンの目的

- 多様な資金調達で、子ども若者たちへの絶える事のない支援をおこなっていく
- まだまだ知られていない、さいたまユースサポートネットの活動を広く知っていただく

クラウドファンディングは、私たちにとって、経験のない取り組みで、どの様に取り組めば良いのか、本当にご支援が集まるのか、不安を抱えたスタートでした。そんな、不安の中でのスタートでしたが、多くの方にご支援や応援メッセージをいただきありがとうございました。



最近のたまり場の様子

私も日々、微力ながら子どものためにできる事をしていきます。ユースサポートネット様が見沼区に移転してくださった時に本当にありがたい事だなと感じました。

なかなかお伺いできませんが、頑張ってください！！

素晴らしい活動だと思います。応援しています！

活動に敬意を表します。いつまでも居場所を継続してください！応援しています。

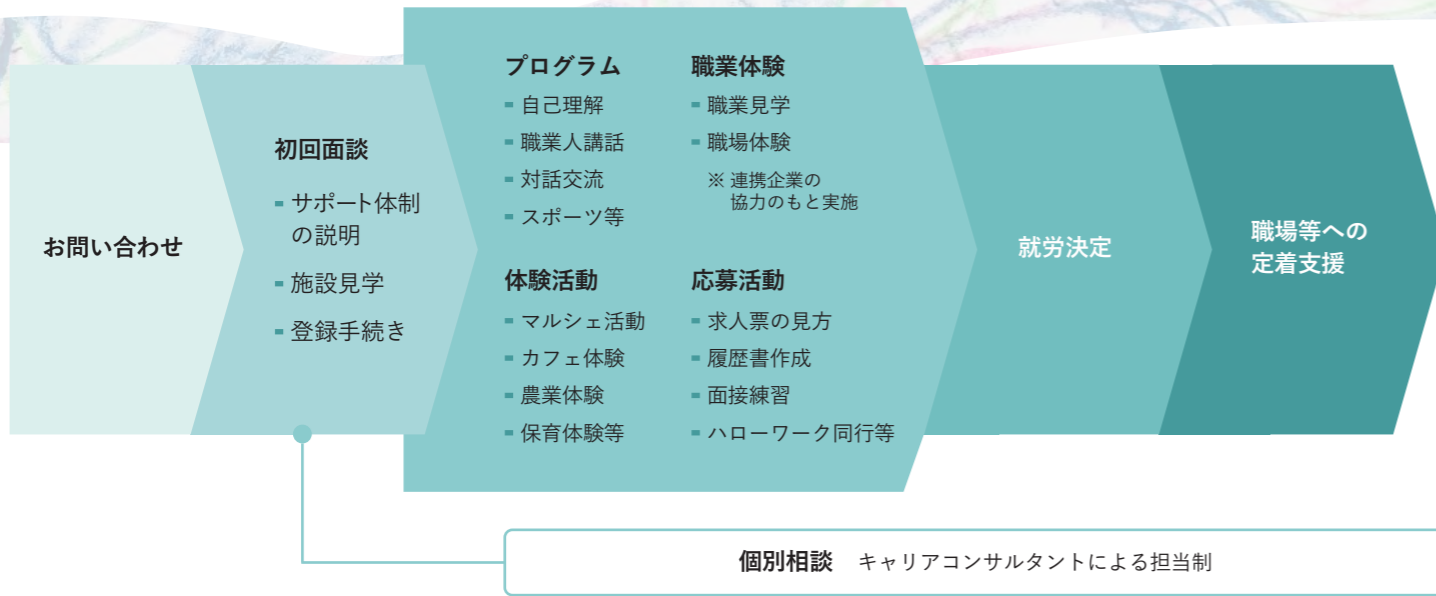


このクラウドファンディングでいただいたご支援は、さいたまユースサポートネットの活動の原点である『たまり場』の運用資金として大切にに使わせていただきます。

This is 就労支援

特集 -就労支援事業はたチカ応援プログラム-

私たち就労支援事業では、ひきこもりが長く働きかけをつかめない若者や、高校・大学中退後その後の進路が決められない、また仕事を始めてもなかなか続かない若者たちを対象に、一人ひとりのケースにあわせて、伴走型の支援を実施しています。キャリアコンサルタントによる個別相談と並行しながら、各種プログラムや体験活動、職業体験、応募活動などを提供しております。就労はもちろん、個々のケースに合わせて教育機関や就労移行事業所等への決定後も、引き続き職場での悩みの相談やスキルアップも含めた定着支援を実施しています。



多様なプログラム

自己理解／職業人講話／対話交流／スポーツ等

登録初期段階にある人、心の問題に課題を抱える人などが気軽に参加できるような、心に関わる講座や工芸制作などのプログラムを提供しています。

みんなで集まって、何気ない対話交流をする場や、職業人による講話、スポーツなど、利用者のニーズに寄り添ったプログラムも企画しています。



アートセラピー



卓球交流会

体験活動

マルシェ活動



当団体のみならず、地域の福祉団体や農家さんなどにも会場を開放してマルシェを定期的実施しています。多くの利用者がマルシェの運営に携わり、物品販売などに参加することで働くための一歩を踏み出します。アートや創作活動を得意としている若者たちも少なからず登録しています。作品を展示・販売する企画も実施しています。



体験活動

カフェ体験／農業体験／保育体験



当団体が運営するカフェで、お皿洗いや接客・片付け等の体験することもできます。



畑で、季節に応じた作物の植え付けや収穫、草取りなどを行っています。収穫物はカフェの食材などになっています。



当団体が運営する子どもの居場所活動をボランティアとしてサポートします。

職業体験

職場見学・職場体験等

実際に職場を見学したり、働いてみる体験は一歩を踏み出す勇気を与えてくれます。職場見学会に参加したり、職場体験にチャレンジできます。体験先の企業は日頃より当団体との連携に協力をいただいております。若者への理解ある対応をいただいております。物流倉庫のピッキング作業、清掃業、飲食販売店、不動産サービス業の総務事務、実験器具の製造加工など、多様な業種での職業体験を提供しています。



応募活動

求人票の見方／履歴書作成／面接練習等

就労にむけた求人票の見方や履歴書の作成方法など応募や面接で気を付けるべきことなどをお伝えします。初めてで不安な方のためにハローワークへの同行や面接の練習などもおこないます。



地域社会との連携

地域社会との協働を通じて、社会参加や働く体験の場を創出しています。地域の町内自治会の協力による自治会館での定期清掃や、地域の商店会やロータリークラブの行事などにも積極的に参加しています。若者の就労支援活動を通じて地域社会との輪が広がっています。



一人ひとりに寄り添ったサポートをめざして

誰しもが社会に参画し働く力を持っています。私たちは、その一歩を踏み出す不安や自信がない若者一人ひとりの個性に向き合っ、個々の状況によって必要なオーダーメイド型のサポートを実施しています。

協働

地域づくり「堀崎プロジェクト」進行中

地域の方々が集い、顔を合わせて、声を掛け合い、「子ども若者を支える」場づくりである「堀崎プロジェクト」を進めています。「堀崎プロジェクト運営協議会」と研究者による活動の方向性を考える「評価委員会」を開催してしながら、プロジェクトを進めています。

Horisaki Project

地域の課題に向き合う commons を

堀崎プロジェクト

さいたま市見沼区にて、地域の企業や学校、民生委員などと連携しながら子どもや若者の問題の解決と支援の充実を目指す「堀崎プロジェクト」を2021年にスタートさせました。



地域交流拠点「ほりさきマルシェ」 “きっかけ”や“つながり”を「地域の力」に

昨年は7月・9月・12月の3回にわたって開催した「ほりさきマルシェ」。「あそぼう・はなそう・つながろう」をキャッチフレーズに、地域の農家さんや福祉団体、子どもや高齢者サークル団体ほか、さまざまな方にご参加いただきました。ご来場者との出会いのみならず、出店者さん同士の交流も生まれ、私たちが回を重ねるごとに本当にたくさんの方々とのつながることができました。親子で楽しめる小物づくりワークショップや、お野菜販売の他、さまざまな音楽・ダンス発表、マジックショー、紙芝居など、子供から幅広い世代の方が共に楽しめる「場」ができてきました。このような場は、私たちだけでつくれるものではなく、ご参加いただくみなさまのご協力によるものです。これらのきっかけやつながりが、いずれ「地域の力」となって、互いに支えあうコミュニティの輪が一層広がっていくよう、私たちはこれからも地域のみなさまと共にこの「ほりさきマルシェ」の活動を続けてまいります。



▲ 就労支援事業の利用者さんとチラシ制作も進めました。

地域とつながる、あなたとつながる。



「もう一つの価値」を大切に!

やどかりの里はさいたま市見沼区、大宮区、浦和区に活動拠点をもち、主に精神障害のある人たちへの地域支援を行っています。精神障害のある人、家族、職員が「1人1人が主人公」を合言葉に、支え合いながら活動を続けてきました。地域の皆さんからは「やどかりさん」と呼んでいただき、自治会などのイベントにも参加しています。



精神障害と聞くと自分とは関係ない……と思う方が多いかもしれませんが、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病と並んで精神疾患は5大疾患の1つです。いつもと違う自分、精神的な不調があっても、それが病気とわからなかったり、隠したいと思ったりします。やどかりの里は、精神疾患があっても暮らしやすい、病気や障害を隠さずに生きられる地域を目指しています。さいたまユースサポートネット（以下ユース）の皆さんは、子どもや若者たちの居場所づくりを長年続けてこられました。その大切さに共感します。やどかりの里の原点は「茶の間」でした。誰もが何の役割ももたずにほっとできる場所です。おしゃべりしていても黙っていてもいい……。「自分はここにいていいんだ」と感じられる場所です。その場所でまたエネルギーを蓄え、次の一步を踏み出す……失敗しても、挫折しても生き直すことができる……生産性や効率性を重視するのではなく「もう一つの価値」の大切さを実感しています。



ユースの皆さんの力も借りて「つなぐ・つくるプロジェクト」に取り組み、地域を巡回し、喜々と楽々と名づけられた2頭のヤギとともに、旅するお茶の間、まちなか保健室をユースや南部領辻にあるトラスト1号地などで開催しています。そして、今年の5月には堀崎町の大宮東図書館に隣接するカフェスペースを地域の茶の間にしようとして準備中です。ユースの皆さんとのさらなるコラボも期待しています。

つなぐ・つくるプロジェクト

ホームページ

Instagram

《 応援プログラム 》

あなたのおかげで、 できることがたくさんあります。

たとえコーヒー 1日 1杯分のご寄付でも子どもや若者たちを救えます。

月1,000円

食事を児童3人に1日提供できます。児童に勉強を教えることができます。

月3,000円

食事を児童3人に3日間提供できます。子ども1人に体操着・上ばきなどを提供できます。

月5,000円

食事を児童3人に5日間提供できます。絵具、書道セットなどを提供できます。



貧困、いじめ、不登校、引きこもり、障害、高校中退……生きづらさを抱えた子どもや若者たちがいます。その困難が、「社会の中で見えづらくなっている」そのこと自体が私たちの課題です。

お金だけではなく、物品のご提供でも子ども・若者支援のチカラとなります。

子ども・若者のために 寄付をする

